

農村負債整理組合法案特別委員會議事速記録第四號

昭和八年三月二十四日(金曜日)午前十時
二十八分開會

○委員長(子爵野村益三君) 開會イタシマス、御質疑ハゴザイマスマイカ

○岩田宙造君 一ツダケテチョット御伺ヒ致シマスガ、是ハ或ハ昨日私ハ遅刻シマシタノデ、御尋ニナツタノカモ分リマセヌガ、此組合ハ同ジ地區内ニハ一ツニ限、テ御許シニナル御見込デアリマセウカ、或ハ二個以上御許シニナル見込デゴザイマセウカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(小平權一君) 負債整理組合ハ出來ルダケ部落又ハ部落ニ準ズル區域ニ於テ一ツノ負債整理組合ヲ設立サセルヤウニ致シタイト思ッテ居ルノデアリマス、併シ場合ニ依ッテハ一ツノ部落デモ二ツノモノガ出來ルコトガアリ得ルカト思フノデアリマスガ、ソレハ認可ノ際ニ十分指導督勵イタシマシテ、出來ルナラ一部落一ツノ組合ニ致シマシテ、部落民大多數ガ入ッテ隣保共助ノ精神デ負債整理ヲスルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、法律ハ一ツニ限、テ居ル譯デハゴザイマセヌ

○岩田宙造君 此負債整理組合ハ更生計畫

第四部第二五類 農村負債整理組合法案特別委員會議事速記録第四號 昭和八年三月二十四日

ノ方ガウマク立チマシテ、其方ニ重キヲ置イテ出來ルト云フモノハ別デアリマスケレドモ、此負債整理ト云フ償還ノ方ヲ主トシテ出來マスル組合ハ、是ハマア金ヲ借リルト云フコトヲ實際上ノ主モナ目的ニシテ設立ラシ、從テ其組合ノ義務ニ付テハ組合員ガ共同シテ責任ヲ負フノデアリマスカラ、デ此負債ノ高ガ非常ニ違、テ居リマストカ、或ハ資産状態ガ違フヤウナモノハ、同ジ組合ニ入ッテ非常ニ利害關係ガ違フデアラウト思フノデスガ、自分ハ僅カシカ金ヲ借リナイノニ外ノ組合員ハ何ボ組合ノ金ヲ借リル、ソレト同ジ組合ニ入ッテ同ジヤウナ責任ヲ負フコトハ困ル、ソレカラ又責任ハ同ジデアッテモ自分ハ相當財産ヲ有、テ居ルノダカラ、實質上多クノ責任ヲ負ハセラレルシ、他ノ組合員ハ一向資産ヲ有、テ居ラヌノダカラ實質上責任ノナイノト同ジデアアル、サウ云フ者ト同ジ組合ニ入ルノハ困ルカラ、ウ云フ者ト同ジ組合ニ入ルノハ困ルカラ、矢張り似寄ッタヤウナ者ガ組合ヲ組織シタイト云フヤウナコトガ必ズ出來テ來ヤシナイカト思フノデアリマス、從テサウ云フ場合ニハ同ジ地區内ニ數多ノ組合ガ起ルト云フヤウナコトガ豫想サレルヤウニ考ヘラ

レルノデアリマス、其場合ニ、ソレデハ二箇以上ノ組合ヲ法律デハ設立シ得ルト云フコトニナツテ居レバ結構ダト思ヒマス、其御趣意デアアルノデスナ

○政府委員(小平權一君) 左様デゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ質疑ハ完了シタヤウニ考ヘマス、御質疑ガナケレバ討論ニ入ラウト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○菅原通敬君 直グ討論ニ移リマスカ、懇談會デモ御ヤリニナル御考ヘハアリマセヌカ

○委員長(子爵野村益三君) 御希望ガアレバサウ云フ風ニ取計ヒマスガ、如何デスカ

○菅原通敬君 私ハモウ別ニ……他ノ方ニ御希望ガナケレバ直グ討論ニ入ッテ戴イテ結構デゴザイマス

○子爵舟橋清賢君 何カ特別ノ、他ノ委員ヨリ特別ノ御希望ガアルトカト云フコトデアレバ懇談會ヲ御開キニナツタ方ガ宜イト思ヒマスガ、私ハ別ニサウ云フ希望ハ持ッテ居リマセヌ

○委員長(子爵野村益三君) 懇談會ヲ開キ

マセウカ

○山岡萬之助君 別ニ大シク意見デモアリマスレバ……意見ガアルカナイカ、ソレヲ明カニシテ……

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ討論ニ入リマス。

○菅原通敬君 私ハ本案ヲ賛成イタシマス、其理由ヲ簡單ニ申述ベヤウト思ヒマス、農村債務整理ニ關スル法律案ハ昨年政府ヨリ提出サレタノデアリマシタガ、此度御提出ニナリマシタ法案ハ前年ノモノニ比シテ、數段ノ改善ノ跡ヲ見ルノデアリマシテ、政府御苦心ノ次第モ察セラレルノデ、大イニ之ヲ多トスルノデゴザイマス、昨年貴族院ハ衆議院ガ政府ノ提案ニ對シテ富籤ニ依、テ其資金ヲ得ベク中央金庫ト云フモノヲ置クコトニ修正サレテ本院ニ送ラレタノデアリマシテ、其際貴族院ハ衆議院ノ其修正ヲ排斥イタシマシテ、殆ンド全ク政府提案ノ原案ニ復活イタシマスルト同時ニ、其整理資金ヲ、低利ナル所ノ整理資金ヲ調達スルコトニ關シテ、政府ニ特ニ考慮ヲ求ムル旨ノ希望ヲ附シテ決議イタシタノデアリマシテ、此度ノ御提案ハ此貴族院ノ希望ヲ容レラ

レ、尙ホ又貴族院ニ於テ論議ノアリマシタ
 各種ノ點ニ付テモ十分ナル考慮ヲ拂ハレテ
 居ルト云フコトガ明カデアリマシテ、私共
 大イニソレニハ満足イタスノデゴザイマ
 ス、デ此度ノ御提案ヲ能ク審議イタシテ見
 マスルノニ、形ノ上カラ申シマスト云フト、
 制度トシテハナカノ宜ク整フテ居ルモノ
 デアルト拜見イタスノデゴザイマス、例ヘ
 バ隣保共助ノ精神ヲ一層濃厚ニ之ヲ織込マ
 レデアリマスコト、債務償還計畫ト經濟ノ
 更生計畫ト一層密接ナサシメラレタルコ
 ト、金錢債務臨時調停ノ方ト連繫ヲ保タシ
 メラレタルコト、組合資金ノ特別融通ノ途
 ヲ開カレタルコト、組合ノ損失補償ノ方法
 ヲ設ケラレタルコト、地方自治團體ニ責任
 ヲ分擔セシメルヤウニ爲サタコト、是等ノ
 コトハ制定ノ上カラ見テ誠ニ宜ク出來テ居
 ルト思フノデゴザイマス、唯其形ハ宜ク整
 フテ居リマスノデアリマスガ、其内容ヲ精
 細ニ審議イタシテ見マスルト云フト、多少
 ノ遺憾ノ點モナイデハナイノデアリマス、
 例ヘバ此特別融通ノ資金ノ二億萬圓ト云フ
 ノハドウモ少額ニ失スル嫌ヒガアルノデア
 リマス、又市町村ニ對シテ特別融通資金ノ
 借入及貸付ノ責任ヲ持タセタ外ニ尙ホ損失
 金ノ四分ノ一ト云フモノノ負擔ヲ命ズルト

云フコトガ稍、重キニ失スル嫌ヒガアルノ
 デアリマス、此二ツノ點ニ付テハ更ニ宜ク
 御考ヲ願ハナケレバナラヌトハ思フテ居ル
 ノデアリマスケレドモ、今茲ニ本案ヲ修正
 スルト云フヤウナコトニマデハ私ハ考ヘテ
 居ラヌノデゴザイマス、就キマシテハ政府
 ニ於カレマシテハ成ルベク組合ノ損失ヲ少
 カラシムルコトニ十分ナ注意ヲ拂ハレ、從
 テ其結果トシテ特別融通金ノ二億萬圓ト云
 フモノヲバ更ニ増加スルコトノ得ルヤウニ
 導カレテ行クト云フコトヲ願ヒタイノデア
 リマス、ト申スノハ國庫ノ損失補償ノ補給ト
 云フモノガ三千萬圓ト云フコトニ既ニ法律
 ニ定メラレデアリマス以上ハ、其損失補償
 ノ金額ヲ増加スルコトガ出來ヌト云フコト
 ニナリマスト云フト、若シ三割ノ損失ガア
 ルト云フコトニ致シマスト云フト、二億萬
 圓ト云フモノヲ増ス譯ニハ行カヌノデアリ
 マスカラ、其三割ノ損失ト云フモノヲ二割
 ニ止メルトカ、或ハ一割五分ニ止メルト云
 フヤウナコトニシテ損失補償金ノ國庫カラ
 ノ補給ト云フモノノ三千萬圓ト云フモノハ
 押ヘテ置キマシテモ損失金ノ總額ヲ減ズル
 コトニナリマスト云フト、自然其結果トシ
 テ二億萬圓ト云フモノヲ或ハ三億萬圓ニモ
 増スコトガ出來、或ハ四億萬圓ニモ増スコ

トガ出來ルト云フヤウニナルノデアリマス
 カラ、茲ニ低利資金ノ融通ノ途サヘモ適フ
 コトデアリマスト云フト、其増額モ出來ル
 ト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、成ル
 ベク其組合ノ損失ト云フモノヲ少カラシメ
 テ、サウシテ特別融通金ノ金額ノ多ク調達
 ノ出來ルヤウナコトニ御努力ヲ願ヒタイト
 思フノデアリマス、尙ホ先刻申シマシタ
 通り市町村ノ荷物ト云フモノハ、所謂負
 荷ト云フモノハ餘リニ重過ギルヤウニア
 ルノデアリマスカラ、其重荷ヲモウ少シ
 減ズルコトガ出來ルヤウニサセルコトガ
 必要デアラウト思フノデアリマス、損失金
 ノ四分ノ一ヲ分擔スルト云フコトノ規定ニ
 ナテ居リマスガ、是ニハ特別ナル場合ヲモ
 認メラレテ居ルコトデアリマスシ、其邊ノ
 コトハ多少ノ融通ノ利クコトデモアラウト
 思ヒマスト同時ニ、成ルベク組合ノ損失ヲ
 少カラシムルト云フコトニナレバ、又自然
 市町村ノ負擔ト云フモノモ減ズルコトニナ
 ルノデアリマスカラ、其點ニ付テハ一層ノ
 御考慮、御注意ヲ願ヒタイト思フノデゴザ
 イマス、ソレカラ此先般モ申述ベマシタ通
 リ農村ノ負債ノ原因ト云フモノガ色ミアル
 ノデアリマスケレドモ、其色ミアル所ノ負
 債ノ原因フ中ニアッテモ、農村ノ租稅公課ソ

負擔ノ重イト云フコト、是ガ大ナル原因ヲ
 爲シテ居ルモノデアルト思フノデアリマス
 カラ、農村經濟ノ立直シヲシヤウトスルニ
 付テハ農村ニ於ケル所ノ租稅公課ノ負擔輕
 減ト云フコトガ最先ニ立タナケレバナラヌ
 ト思フノデアリマスノデ、其コトニ付テハ
 特ニ御考慮ヲ拂テ戴キタイト思フノデア
 リマス、ソレカラ金融機關ノ整備シテ居リ
 マス所ト整備シテ居ラヌ所、金利ノ高イ地
 方ト低イ地方、是等ノ地方ニ依テハ大分
 違ヒガアルノデアリマスカラ、成ルベクサ
 ウ云フヤウナ特殊事情ノ存スル地方ニ於キ
 マシテハ、特別ナル考慮ヲ拂ハルルコトニ
 御願ヒ致シテ置キタイト思フノデアリマ
 ス、例ヘバ東北地方デアリマストカ、或ハ
 北海道地方デアルトカ、或ハ沖繩縣デア
 ルトカ云フヤウナ、現ニ地方經濟ノ非常ニ良
 クナイト目セラレテ居ルヤウナ所ニ付テハ
 特ニ御考慮ヲ拂テ戴クヤウニシテ戴キタ
 イト思フノデアリマス、ソレカラ最後ニ申
 上ゲテ置キタイコトハ、個人ノ借金ヲ整理
 スル爲ニ國家ガ國ノ力ヲ以テ借金ノ利息ヲ
 負ケサセテヤタリ、或ハ借金ノ切下ヲシタ
 リ、或ハ棒引ヲサセタリ、或ハ安イ利息ノ
 金ヲ貸シテヤルト云ウタヤウナコトニ依
 テ、國家ガ個人ノ借金ノ尻拭ヒヲシテヤル

ト云フヤウナ觀念ヲ國民ニ若シ持タシメル
ヤウナコトニナリマシタナラバ、是ガ國民
精神ニ及ボス影響ト云フモノハ甚ダ恐ルベ
キモノガアルト思フノデアリマスカラ、即
チ或ハ自助ノ精神ナリ、義務ノ觀念ナリト
云フモノヲ失フヤウナコトニナリ、色ミ
ナ悪イ影響ヲ生ズルニ至ル虞ガアルノデア
リマスノデ、自然依頼心ヲ生ズルヤウナ風
モ生ジテ参リマセウシ、或ハ茲ニ又我ミノ
豫期セザル所ノ矯激ナル思想ヲ誘導シテ行
クト云フヤウナ虞モナイトハ限ラヌノデア
リマスカラ、是ハ臨時特別ノ立法デアルト
云フコトニナリテ居ルノデアリマスケレド
モ、動モスレバ、其尾ヲ後ニ引クノ虞ノア
ルモノデアリマスカラ、其點ニ付テハ能ク
御油斷ナク御注意置キテ願フヤウニ致シタ
イ、是等ノ希望ヲ申述ベマシテ本案ニ賛成
イタシマス

○山岡萬之助君 私ハ本案ニ賛成シ之ヲ成
立セシムルト云フ考ヲ持テ居ルノデアリ
マス、其賛成ノ理由ヲ明カニシテ此制度ノ
重大デアルト云フコトヲ申述ベテ見タイノ
デアリマス、農村振興ガ現下ノ重大問題デ
アリマスコトハ申スマデモナイコトデアリ
マシテ、此今日ノ經濟界ノ不況ト云フモノ
ハ結局消費ノ減退ト云フコトニアルノデア

リマシテ、今日マデノ經濟界ガ消費ノ關係
ヲ餘リ重ク見ナイデ居、タト云フコトガ此
不況ヲ致ス所以デアルト思フテ居ル、而シテ
消費ヲスルト云フ所ハ即チ農村ニアルノデ
アリマス、農村ヲ振興セシメナケレバ今日
ノ經濟打開ハ出來ナイ次第デアリマス、是
故ニ農村振興ニ關シマスル所ノ本案ハ時局
極メテ重大ナリト云フコトニナルノデアリ
マス、之ヲ完成イタシ、目的ヲ達成スルニ
ハ何處マデモ此協力一致ノ精神ヲ以テ努力
スル、此事ガ大事デアルト同時ニ、物質
面ノ生活難ヲ緩和スル、斯ウ云フコトニシ
ナケレバナラヌト思フノデアリマス、農村
ガ此過去數年ノ間ニ於テ今日ノヤウナ狀況
ニナリマシタルコトハ、此貨幣價值ガ金ノ
問題カラシテ非常ナル變動ヲ致シマシテ、
其間ニ物價ガ急激ニ下落ヲ致シタ、殊ニ生
絲ノ如キハ、非常ナル下落ヲ致シマシタ、
ソレ等ガ重大ナル其原因ヲ爲シテ居ルコト
デアリマス、是故ニ國家ガ之ニ對シテ適當
ナル對策ヲ講ジナケレバナラヌト云フ根據
ガ立ツノデアリマス、若シサウ云フ風ナ
一般的ノ事情ナシニ個人ガ徒ニ債務ヲ増加シ
タリ、之ヲ國家ガ出テ整理ヲスルト云フヤ
ウナコトヲスルノナラバ、是ハモウ非常ナ
ル不都合ナコトニナルノデアリマス、今日

ノ農村救済ト云フコトガ右様ナル重大ナル
理由ガアルカラ國家ガ茲ニ對策ヲ講ジナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、唯外來ノ
思想ノ影響カラ致シマシテ、國民精神ガ鬼
角緊張ヲ缺イタト云フコトモ是モ看過スル
コトノ出來ナイ一因デアルト考ヘマス、ソ
レデアリマスルカラシテ、兎モ角今日國家
トシテ農村ノ問題ヲ解決シ、農村ヲ作興ス
ルト云フコトハ一般ノ說明ノ付クモノデ
アルト私ハ考ヘルノデアリマス、而シテ農
村ノ負債ハ、政府ノ説明ガアリマシタルヤ
ウニ五十億ト推算サレル、併シ其大半ハ不
動産擔保等モアリマサルシ、基礎カ鞏固ナ
銀行トノ取引債務デアアル、併シ其大約半數
位ノ所ハ、高利債ニナリテ居ル、此高利債ヲ
整理スルト云フ爲ニ斯様ナ制度ノ必要ヲ感
ズルコトデアリマス、凡ソドノ位アルカト
云フコトモ是モ推算ノコトデ見當ノ付キ兼
ネル次第デアリマスケレドモ、先ヅ約二十
餘億ト云フモノガ左様ナモノガアルト考ヘ
ラレルノデアリマス、サウスルトソレヲ整
理イタシマスル資金ハ政府ノ今度ノ計畫ノ
率ヲ以テ致シマスレバ、三分ノ一ヲ以テシ
タクチャナラヌノデアリマス、大約七八億
圓ト云フモノガ必要デアアル、是ダケノ低資
ヲ融通シテ計畫ヲ立テマスルナラバ、農村

ハ一應ノ御整理ト云フモノガ付イテ、全體
トシテ非常ニ經濟力ヲ増進シテ活動力ガ付
クコトト思ハレルノデアリマス、併シ政府
ノ此度ノ御提案ハ六億圓ト云フ債務ニ限度
ヲ付ケテ、二億圓ノ低資融通ノ計畫デアリ
マスルカラシテ、此制度ノ實施ニ依リテ農
村全體ヲ一括シテ經濟活力ヲ増進スルト云
フコトハドウデアラウカト云フコトニナルノ
デアリマス、即チ計畫的ニ申セバ足ラナイ
コトニナルノデアリマス、併シ本案ニ於ケ
ル所ノ政府ノ計畫ハ中小農家ヲ土臺ト致シ
マシテ、償還計畫ト更生計畫ヲ立テマシテ、
其計畫ノ立ツタ時融通ヲスルト云フコトニ
ナリテ居ルノデアリマス、此計畫ノ立タザ
ル限りハ本法ニ依ル所ノ利益ニ浴スルコ
トハ出來ナイ譯ニナリマス、サウナリマス
ルト云フト、此資金ガ農村ニ流レルト云フ
コトガイツ其處ニムヅカシイ問題ニナルノ
デアリマスルカラ、段々御説明ニ依リマス
レバ、隣保共助ノ觀念ヲ以テ、ソレヲ前提
トシテ、而シテ我國ニ於キマスル淳風美俗ヲ
作興セムトシ、此根本精神ヲ以テ臨マレテ
居ル點ガ私共ノ最モ適當ナリト考ヘル所デ
アリマス、即チ此力ニ依リテ關係アル所ノ
債務者又債權者、其他各關係アル國家ノ公力
ト協力シテ結果ヲ得ルコトニナリマスル次

ノ農村救済ト云フコトガ右様ナル重大ナル
理由ガアルカラ國家ガ茲ニ對策ヲ講ジナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、唯外來ノ
思想ノ影響カラ致シマシテ、國民精神ガ鬼
角緊張ヲ缺イタト云フコトモ是モ看過スル
コトノ出來ナイ一因デアルト考ヘマス、ソ
レデアリマスルカラシテ、兎モ角今日國家
トシテ農村ノ問題ヲ解決シ、農村ヲ作興ス
ルト云フコトハ一般ノ說明ノ付クモノデ
アルト私ハ考ヘルノデアリマス、而シテ農
村ノ負債ハ、政府ノ説明ガアリマシタルヤ
ウニ五十億ト推算サレル、併シ其大半ハ不
動産擔保等モアリマサルシ、基礎カ鞏固ナ
銀行トノ取引債務デアアル、併シ其大約半數
位ノ所ハ、高利債ニナリテ居ル、此高利債ヲ
整理スルト云フ爲ニ斯様ナ制度ノ必要ヲ感
ズルコトデアリマス、凡ソドノ位アルカト
云フコトモ是モ推算ノコトデ見當ノ付キ兼
ネル次第デアリマスケレドモ、先ヅ約二十
餘億ト云フモノガ左様ナモノガアルト考ヘ
ラレルノデアリマス、サウスルトソレヲ整
理イタシマスル資金ハ政府ノ今度ノ計畫ノ
率ヲ以テ致シマスレバ、三分ノ一ヲ以テシ
タクチャナラヌノデアリマス、大約七八億
圓ト云フモノガ必要デアアル、是ダケノ低資
ヲ融通シテ計畫ヲ立テマスルナラバ、農村

第デアリマス、結局誠心誠意ト云フコトガ
本案ヲ活用スル所ノ基礎ナリト申スベキコ
トデ、屢、政府ガ反覆説明セラレテ居ル所
デアリマス、此熱誠ヲ以テ初メテ資金ヲ農
村ニ引付ケルコトガ出來ル次第デアリマ
ス、此誠意ヲ以テ美風ヲ作興シ、之ヲ眼目
トシテ進ム、斯ウ云フコトデアリマスレ
バ、即チ負債ヲシタ者ヲ唯單純ニ、他力ニ
依ッテ片付ケテ行クト云フコトニナラナイコ
デア、テ、誰モガ常ニ考ヘル點デ、徒ナ依
頼心ヲ起サセルト云フコトハ非常ニ重大デ
アル、全ク重大デアリマス、サウ云フコト
ハ何處マデモハ抑ヘテ行カナケレバナラ
ヌト思フノデアリマス、ソコデ今日ノ農村
ヲ見マスルト云フト、外來思想ノ影響カラ
シテ、兎角ニ傳統的氣風ヲ缺キマシテ、浮
薄ニ流レテ居リマスルコトハ申ス迄モナイ事
情デアリマス、是故ニ本法ノ運用ト云フモ
ノハ唯物質的、經濟的ノ關係ダケデナイ、
若シ此運用ヲ一ツ誤リマスレバ、延イテハ
思想ヲ惡化ニ導ク所ノ即チ導火線トナル虞
ガアルノデアリマス、故ニ政府ノ御主張ニ
ナッテ居ル所ノ精神的關係ヲ何處迄モ基調
トシテ進メラレルコトガ必要デアルノデア
リマス、斯様ナ次第カラ考ヘマスルト云フ
ト、質疑應答ノ際ニモ申上ゲタノデアリマ

スルケレドモ、矢張り此要目ト云フモノモ
確ニ影響スルコトト思ヒマス、負債整理ト
云フコトヲ標題ニシタト云フコトハ適當ヲ
缺イテ居ルト思ヒマス、農村經濟振興ト云
フ方面カラ言葉ヲ假ッテ本案ガ成立チマス
レバ誠ニ望マシイコトデア、タト考ヘマス、
其他本案ノ細カイ所マデ見マスルト、條文
自體ニ於テモ論議スベキ所ガアリ、又足ラ
ナイ點モアルト考ヘマス、ガ併シ今日衆議
院ヲ通過シテ此處ニ參リ、會期モ切迫シテ
居ル時、根本精神ニシテ誤リナクンバ本案
ノ效果ヲ舉ゲルコトガ出來ルト考ヘマスカ
ラ、ソレヲ修正スルト云フコトハ今日私ハ
申上ゲナイノデアリマス、即チ此運用ヲ良
クスルト云フコトガ肝要デアリ、其點ニ力
ヲ致シタイ、斯ウ思フノデアリマシテ、之
ニ依ッテ農村ノ醇風美俗ヲ協力一致シテ作
興スル、ソコデ此低資ノ融通、擔保物ニ處
分スルト云フヤウナコトニ依ッテ整理イタ
シタル負債額ハ必ズ之ヲ償却スルト云フコ
トニ是ハ致サナケレバナラヌ次第デアリマ
シテ、其償還計畫ト云フモノガ十分ニ確立
シ、更ニ更生計畫ニ依リマシテ生業ノ經營
ヲ改善シ、生産物ノ共同販賣、必需品ノ共
同購入、又家計ヲ改善シ、剩餘ヲ存貯蓄
ヲ厲行シテ、再ビ此負債ヲ増加スル所ノ禍

ヲ招カヌヤウニスル、是ガ若シ再ビ負債ヲ
増加スルト云フコトニナリマスルト云フト
整理シナイヨリモ悪クナルノデアリマス、
整理ヲシナイ方ガ其處ニ殖エテモ減ッテモ
單純ナ形ニナル、一度綺麗ニシテ是カラ努
力ヲシヤウトシテ見タ所デ效果ハ舉ラヌト
云フコトニナルト、精神關係ト云フモノハ
非常ニ寧ろ惡化シテ來ル、デアリマスルカ
ラシテ一度整理ヲ付ケタモノガ更ニ行カナ
イト云フコトニナリマスルト、是ハ由々敷
キ問題ヲ惹起スルト私ハ考ヘマス、是故ニ
先キニモ一言イタシマシヤウニ國家公共
團體其他ノ機關モ十分ナル熱意ヲ以テ指導
獎勵シテ違算ナキヲ期スルト云フコトガ必
要ナリト思ヒマス、其處デ特ニ茲ニ申シテ
置キタイコトハ物質面ニ於テハ低資ヲ融通
スル、成ルベク一ツ是ハ低利ニ御考ヲ煩ハ
シタイ、而シテ損失補償ノコトデアリマス
ルガ、是モ損失決定ノ基準ト云フコトモ法
文ニ示サレテ居ルノデアリマス、理論一點
張りデ行ケバ二十年先キ迄モ考ヘテ、無限
責任デアアルカラ損失ト云フモノナドハ出テ
來ナイノダト云フ理論ニナルノデアリマ
ス、若シ理論上損失ガ出ルヤウナコトデア
ルナラバ、ソレハ此償還計畫モ更生計畫モ
不適當ナモノダッタノダト斯ウ言ハナクチャ

ナラヌ、理論上カラ行ケバ損失補償ト云フ
モノハナクナルデアリマス、然レドモサウ云
フヤウナヤリ方ハ是ハ實際的デハ無論ナイ
ノデアリマスカラシテ、茲ニ損失決定ノ基準
ト云フモノヲ示サレル譯ニナリマス、其示シ
タモノガ極メテ實際的デアアルコトガ必要デ
アリマス、即チ其損失ハ何處カラ見テモ妥當
ナモノデアアルト云フ場合ニハ、是ハ宜シク
補償スベキモノデアルト思フ、サウデナク
シテ唯或事情カラ何等カ外ノ事情カラ、宜
シイ、サウ云フコトハ補償シテヤラウト云
フコトニナルノナラバ、遂ニ國家ノ三千萬
圓ヲ空シクスルバカリデナク、地方自治體
ノ損失補償ト云フモノヲ若シ無益ニ消費シ
テ、二億ノ低資融通ノ中其三分ノ一ノ大ナ
ル六千萬圓ト云フモノガ消去ルノデアリ
マス、ドウモ今日迄ノ責任感ヲ眺メテ見マ
スルト、サウ云フコトノナイコトガ決シテ
保證出來ナイノデアリマス、段々ト經濟界
ノ不況ヨリ致シマシテ、ドウシテモ拂ヘナ
イデヤナイカ、拂ヘナイモノハ拂ヘナイノ
ダト斯ウ云フヤウナコトヲ言フ氣風ガ出テ
參リマシテ、債務ヲ償還スルノ義務、責任
ト云フモノガ以前ト餘程變ッテ居ルノデア
リマス、ダカラシテ此責任感ト云フモノヲ
此度ノ制度ニ依ッテ恢復スルコトガ出來ル

ナラバ是程國家ノ爲メニ幸ヒナコトハナイ
ノデアリマス、若シ之ヲ強ヒテ今迄ノ通り
ニ國民ノ負債償却ノ責任感ト云フモノガ變
リガナイト云フコトナラバ是コソ大變ナコ
トデアルト思フデアリマス、サウ云フ譯
デアリマスカラ一面ニ於テハ妥當ナル損失
ハ宜シク補償スルガ然ルベキモノデア
然ラザルモノニ付テハ十分ナル注意ヲ以テ、
同時ニ隣保共助ノ精神其他淳風美俗ヲ廣ク
作興シテ協調精神ノ觀念ヲ強メマシテ、責
任ハ何處マデモ各人ガ擔當セネバナラヌ、
其責任ヲ擔當スル限リ國家モ隣人モ其人ヲ
捨置カナイ、斯ウ云フ所ニ行カケレバナ
ラヌ、責任ヲ強メテ見タ所デ誰モ願ミテ見
ナイ、此節ハ利害關係ダケ言フテ功利的ニ
活動スル人ガソレガ利益ダ、斯ウ云フコト
ニナルナラバ是ハ在來ト何等ノ變リハナイ、
在來ノ潮流ハ正ニ其處ニア
度ノ制度ヲ立テテ場合ニ於テ、政府ノ先キ
ニ立テテ更生計畫ノ制度ト相俟テ是非ト
モ此責任感ヲ強メテ、同時ニ責任感ガ強マ
タ其人デア
共團體モ之ヲ決シテ見逃スコトガ出來ナイ、
斯様ニナルナラバ人ト云フモノハ矢張り利
害ト云フモノヨリ幾分影響シテ來ル、サウ
デア
ト思フデアリマス、サウ云フモノガ立派

ニナツテ來ルト考ヘルモノデアリマス、斯様
ナ次第本制度ヲ活動シマシテ、是ガ右へ、
右ヘト力強く回轉シテ行キマスナラバ誠ニ
國家ノ爲ニ幸ヒデアリマシテ、終ニハ此計
畫ハ十分ナリトハ申サレマセヌケレドモ、
是ガ總テ制度ノ力ニ依ツテ全負債ヲ償却シ、
農村全體ノ振興ト云フモノヲ來タスコト
ガ決シテ難イコトデハナイト考ヘルノデア
リマス、然ラズシテ是ガ若モ左ニ車ガ回轉
シテ行クヤウナコトニナリマスレバ制度ヲ
立テテ却ツテ害ガアリ、先程申上ゲタヤウニ
茲ニ整理ヲシタ者ガ再ビ立テナイト云フコ
トニナレバ、強イ言葉デ言ヘバ自暴自棄的
ニナル、サウ云フ次第デアリマスカラ、若
シ此回轉ガ左ニ回轉スルヤウナコトガアル
ナラバ是カラ容易ナコトデナイト考ヘラレ
マス、デ此制度ハ實際ニ於テ進ムベキモノ
デアリマシテ、政府ノ之ヲ實行セラルルニ
當リマシテハ、唯負債ノ整理ト云フ金錢的
物質的ノ意味デナクシテ、寧ロ精神面ヲ強
調セラレテ、其精神面ガハ、キリシタ場合
ニ於テ進ム、併シ無論兩々相俟テ精神的
物質的の兩面ヲ進メテ、以テ農村ノ氣風ヲ改
善スル、斯様ナコトニ御努力相成リマスル
ナラバ、以テ農村ノ氣風ヲ一新スルニ足ル
ト思フデアリマス、今日マデノ質問應答

ニ依リ正ニ政府ノ意思ハ其處ニア
ルト考ヘマスノデ、此處ニ之ヲ述ベル必要
アリトモ思ハヌノデアリマスガ、併シ我々
モ之ニ付テ、即チ農村ノ問題ニ付テ經濟ノ
不況ヲ引戻ス爲ニ消費經濟ヲ助長スルト云
フ大キナ意味ガ一ツ、今一ツハ農村自體ノ
精神ヲ作興スル、斯ウ云フ重大ナ關係ガア
リマスノデ、大ニ茲ニ之ヲ一言シタ次第
デアリマス、願クハ政府ハ部下ヲ督勵シ
テ十分ナル責任ヲ以テ本制度ヲ實行セラ
レ、以テ近キ將來ニ於テ喜ブベキ現象ヲ
來タスヤウニ致シタイト考ヘマス、私ハ之
ヲ以テ本案ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス
○子爵舟橋清賢君 私モ此法案ニ付テ贊成
ヲ致ス一人デアリマス、其理由ニ付キマシ
テハ只今菅原君ナリ、山岡君ヨリ極メテ詳
細ニ且ツ適切ニ御述ベニナツタノデアリマ
スノデ、私ハ理由ニ付キマシテハ極ク簡單
ニ申述べ、併セテ政府ニ對シ本案贊成ニ付
テノ希望ヲ聊カ申述べタイト考ヘテ居リマ
ス、此法案ノ目的トスル所ハ隣保共助ノ精
神ニ基イテ、農村ノ自力更生ノ援助ヲ爲ス
ト云フ點ニアリト承知イタシマス、併ナガ
ラ此法案ニハ尙ホ幾多ノ不備ナ點モアリ、
又法案ノ目的ヲ到達スル上ニ於キマシテ甚
ダ徹底シナイヤウナ點モアルヤウニ考ヘラ

レマス、殊ニ最モ政府ニ於テ力ヲ入レ、其
自力更生ヲ援助シテ戴カネバナラヌ所ノ經
濟上窮乏、困窮ノ甚シイ地方ニハ却ツテ此
法律ノ恩惠ニ浴シ難イノデハナイカト疑ハ
レル點ガアルコトデアリマス、本法ノ第一
條及第三十條ヲ見マスト、殊ニ此感ヲ深
クスル次第デアリマス、農山村漁村ノ經濟
更生ハ其居住民ヲシテ更生ノ期待ヲ、換言
イタシマスルナラバ、自分達ガ斯ク致シマ
スルナラバ將來更生ガ出來得ルト云フ信念
ヲ各人ニ懷カシメル一點ノ光明ヲ認めシム
ルコトガ重要ナル要素デア
今日租稅其他公課ノ重壓ノ下ニ彼等ヲ置イ
テ置キナガラ、此法律ニ依リマシテ彼等ノ
經濟更生ヲ圖ルト云フコトハ果シテ出來得
ルカ誠ニ疑ヒナキ能ハズト考ヘマス、彼等
ヲシテ更生セシムトスルノニハ、先ヅ租
稅ノ重壓ヨリ脱セシムルコトガ根本策ト考
ヘマスルガ、是ハ現下ノ我々國家ノ財政ノ
狀態ノ下ニアリマシテハ、俄ニ其實現ヲ望
ムコトハムツカシイト存ジマス、併ナガラ
是ハ政府ガ將來ノ行政、財政、稅制ノ整理
ヲ爲サルル場合ニ於キマシテ、十分ナル御
考慮アラムコトヲ今ヨリ希望スル次第デア
リマス、而シテ現下ノ農山村漁村ニ對シ、
此法律ガ施行セラレル曉ニ於キマシテハ、

隣保共助ノ精神ヲ喚起シ助長シ振興シ、自力更生ノ上ニ於テ幾分タリトモ刺戟ヲ與ヘルコトガ出來得ルト考ヘマスノデ、此法案ノ目的トスル所ノ一部ハソレヲ以テ到達セラルルノデハナイカト考ヘマス、政府ハ此法律ガ將來施行セラレマシタル曉ニ於テ其實蹟ニ鑑ミ、又一方刻下ノ經濟界ノ狀況ノ推移ニ應ジ、更ニ其不滿ノ點ガアレバ之ヲ改メ、其目的ノ到達ニ付テハ完璧ヲ期セラレルコトヲ切ニ願フ次第デアリマス、而シテ此法案ノ精神トスル所ハ、政府ノ御提案ノ御説明ニ於キマシテモ、又此委員會ニ於ケル諸氏ノ質疑應答ニ於キマシテモ明カデアリマスノデ、本員ハ誠ニ之ヲ諒ト致シマシテ、茲ニ贊成ノ意ヲ表スル次第デアリマス

○岩田宙造君 私モ本案ニハ贊成イタスノデアリマスルガ、其贊成ノ理由ハ、反對ノ御説モ餘リ聞キマセヌノデ、是ハ省略イタシタイト思フノデアリマス、唯政府ニ二三ノ希望ヲ申上ゲテ置キタイト考ヘマス、其希望ニ付キマシテモ、根本ノ精神等ニ關シマスル希望ニ付キマシテハ、先刻菅原委員、山岡委員等カラ御述ベニナリマシタ點ニ全然同意ヲ致スノデアリマシテ、私ハ本法ガ施行サレマシタ曉ニ、或ハ事

務のトデモ申シマセウカ、サウ云フ點ニ付キマシテ二三ノ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、其第一ハ、三千萬圓マデ國庫デ損失ヲ補償スルト云フ點デアリマスルガ、是ハ私ノ考ヘマスル所デハ、折角此三千萬圓マデ政府デハ補償スルト云フコトニ相成リマシテモ、此實行ノ上ニ於キマシテハ三千萬圓補償スルト云フコトハ不可能デハナイカト思フノデアリマス、ソレハ、ソレダケノ損失ガ生ジナイノデ三千萬圓補償シナイト云フノデアリマスルナラ是ハ誠ニ結構ナコトデアリマスルガ、實際ニハ損失ハ澤山出來マシテ、サウシテ直接ノ市町村ハ其負擔ニ苦ンデ居リナガラ、サウシテ政府デハ三千萬圓補償スルト云フ覺悟ヲシテ居ラレナガラ、此方法ノ上デ、制度ノ上デ、三千萬圓出スコトガ出來ナイト云フコトガ起リハシナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、ソレハ何故カト申シマスルト云フト、本法ノ規定ニ依リマスルト、二億圓政府ノ方豫定サレテ居テ、ソレダケガ全部出タト致シマシテ、其損失ノ中デ十分ノ三デアリマスカ、十分ノ三ヲ道府縣デ負擔スル、サウ致シマスルト六千萬圓ガ道府縣デ負擔スル損失ノ金額ニナリマス、其中ノ半額三千萬圓ヲ國デ負擔スル、

計算ハソレデ正確ニ合フノデアリマスルガ、併シ其契約ハ國ガ道府縣ト各別ニスルノデアリマスルカラ、其契約ヲシマシタ道府縣デ總テ其最極度マデ損失ガ出マシタ場合ニハ、丁度三千萬圓政府ハ負擔セラルルコトニナルノデアリマス、併ナガラ是ハ各府縣ニ同ジヤウニ損失ガ出ルト云フコトハナイノデナイカト思ハレルノデアリマシテ、平均スレバサウ云フコトニナリマスルケレドモ、或府縣ニ於テハ非常ナ損失ガ出タ、或府縣ニ於テハ其極度マデハ出ナカッタ、サウ云フコトニナリマスルコト云フト、其極度マデ出ナカッタ府縣ニ於キマシテノ損失ダケハ、其差額ダケ……極度ニ實際出タ府縣ガ負擔シタ損失額トノ差額ダケハ殘ルノデアリマス、之ヲ外ノ方デハ、マダ町村デハ足りナイ位ニ損失ガ出來テ居ルニ拘ラズ、サウシテ一面外ノ方デハ餘ッテ居ル府縣ガアルニ拘ラズ、之ヲ各府縣デ各別々ニ契約ヲシマスル結果ハ、ソレダケドウモ使ヒタクトモ使ヘナイト云フヤウナ場合ガ起リハシナカト思フノデアリマス、若シサウデナクテ、各府縣トモ皆契約ヲシタ全額ヲ出サナケレバナラヌト云フヤウナ場合ハ、ソレハ整理ノ結果ガ非常ニ惡イ場合デアリマシテ、皆何處デモ豫想以上ニ非常ニ損失ヲ蒙

タト云フ場合ニハサウ云フコトニナリマスケレドモ、サウデナシニ大體平均ガ政府ノ御見込ノ通りニナリマスルト云フト、ソレハ平均デアッテ、各府縣ニ於テハ極度マデ負擔ヲセズニ濟ンダト云フヤウナ府縣ガ必ズ相當出テ來ルモノト考ヘラレマスルノデ、ソレダケハドウモ折角賠償シテヤラウト思ッダケレドモ賠償ガ出來ナイ、一面ニハ非常ニ困ッテ居ル所ガアルト云フコトガ此制度ノ上カラ起リハシナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、是ハ併ナガラドウシタラ宜イカト云フコトハ、例ノ銀行ノ問題ノヤウニ日本銀行一手デ其損害ヲ負擔シテ行クヤウナ場合ニハ極度迄行キマスケレドモ、斯ウ云フ風ニ府縣ニ分割スル場合ニハドウモチヨットサウ云フ點ガ困難ノヤウニ考ヘマスルガ、何カ此點ニ付キマシテモ政府ニ於カレマシテハ十分御考慮ノ上デ何等カソレガ旨ク行クヤウナ方法ヲ御研究アラムコトヲ希望シタイトデアリマス、ソレガ一點デアリマス、ソレカラ今一ツハ私ガ一番心配シテ居リマスルノハ、是ハ負債ノ償還ト經濟ノ統制ト、消極ト積極ト兩方面ヲヤルト云フコトニナッテ居リマスケレドモ、此統制ノ方ガウマク立ツ所ハ別デアリマスル、サウデアリマセヌト、多クノ場合ハ負

タト云フ場合ニハサウ云フコトニナリマスケレドモ、サウデナシニ大體平均ガ政府ノ御見込ノ通りニナリマスルト云フト、ソレハ平均デアッテ、各府縣ニ於テハ極度マデ負擔ヲセズニ濟ンダト云フヤウナ府縣ガ必ズ相當出テ來ルモノト考ヘラレマスルノデ、ソレダケハドウモ折角賠償シテヤラウト思ッダケレドモ賠償ガ出來ナイ、一面ニハ非常ニ困ッテ居ル所ガアルト云フコトガ此制度ノ上カラ起リハシナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、是ハ併ナガラドウシタラ宜イカト云フコトハ、例ノ銀行ノ問題ノヤウニ日本銀行一手デ其損害ヲ負擔シテ行クヤウナ場合ニハ極度迄行キマスケレドモ、斯ウ云フ風ニ府縣ニ分割スル場合ニハドウモチヨットサウ云フ點ガ困難ノヤウニ考ヘマスルガ、何カ此點ニ付キマシテモ政府ニ於カレマシテハ十分御考慮ノ上デ何等カソレガ旨ク行クヤウナ方法ヲ御研究アラムコトヲ希望シタイトデアリマス、ソレガ一點デアリマス、ソレカラ今一ツハ私ガ一番心配シテ居リマスルノハ、是ハ負債ノ償還ト經濟ノ統制ト、消極ト積極ト兩方面ヲヤルト云フコトニナッテ居リマスケレドモ、此統制ノ方ガウマク立ツ所ハ別デアリマスル、サウデアリマセヌト、多クノ場合ハ負

債償還ノ方ノ消極的ノ方ノ目的デ組合ガ出來ル場合ガ多イダラウト思フノデアリマス、消極的ノ方ノ目的デ組合ガ出來マスト云フト、是ハ要スルニ皆借金シテ居ル者ガ集リマシテ、サウシテ自分ノ借金ヲ整理スル爲ニ低利資金ヲ借りルト云フトニ實際ノ組合ノ目的ニモナル、又組合員モ皆サウ云フ趣旨デ皆集テ來ル、ソレデ組合ガ設ケラレルト云フトガマア實際ノ結果ニナルダラウト考ヘルノデアリマスガ、サウ致シマスルト云フト、組合ヲ組織スル組合員ノ考ハ、皆自分ノ負債ヲ整理シテ貫ヒタイ、此實際問題トシテ低利資金ヲ借りタイト云フ者ガ集テ組合ヲ組織スルト云フトニナルノデアリマス、從テ此組合ガ今後低利ヲ市町村カラ借りマシテ、ソレニ對シテ組合員ガ責任ヲ負フト云フノモ、詰リ自分ガ其中ノ一部分ヲ借りルトガ出來ルカラ、ソレデ初メテ組合ノ債務ニ付テ責任ヲ分擔スルト云フトニナルノデアリマシテ、若シ組合ニ入テモ自分ガ金ヲ借りルトガ出來ナケレバ組合ニ入ル趣旨モ立タヌノデアリシ、又組合ニ入ル目的ガ全然無イ、況ヤ組合ニ入テ外ノ人ノ借りル金ニ對スル責任ヲ分擔スルト云フヤウナコトハ非常ニ馬鹿馬鹿シイコトニナルノデアリマスカラ、

組合ニ入ッタ者ハ自分ガ金ヲ借りテコソ初メテ組合員ニナッタ目的ガ達セラレルト云フトコトニナリマスルガ、然ラバ其組合ニ入ッタ者ハ必ズ自分ノ希望スル低利資金ヲ借りラレルカト言ヒマスルト、此點ニ付キマシテハ政府ノ御考デハ組合ニ入ッタ以上ハ大抵マア整理ハ成立ツモノト斯ウ云フ豫想ノヤウデアリマスルガ、私ハドウモソレハサウハ考ヘマセヌノデ、組合ニ入りマシテモ色ミナ事情カラ整理ノ見込ミノ付カヌ、整理方法ノ付カヌ組合員ガ相當出來ルモノト考ヘルノデアリマス、サウ云フ者ハ組合ニ入ッタケレドモドウモ自分ハ結局金ヲ借りルトコトハ出來ナイ、サウ致シマス、組合ヲ脱退スルカシナケレバナラヌガ、脱退シテ見テモ、今マデ組合ガ借リタ金ニ付テハ責任ハ免レヌ、サウシマス、何モ受クル所ナクシテ、唯組合ニ入ッタト云フダケノ責任ダケヲ負擔シナケレバナラヌト云フヤウナコトガ出來テ、必ズ相當何等カノ方法デ、是ガ原因ニナテ紛争ヲ起シハシナイカト云フトコトヲ憂慮スルノデアリマス、デアリマスカラ是等ノ點ニ付テハ何レ組合ノ定款等ニ付テハ模範的ノモノヲ政府デ御作リニナルコトト考ヘマスカラ、斯ウ云フ場合ヲ十分御考慮ニナリマシテ、サウシテ紛争ノ

起ラヌヤウニ豫メ能ク御注意ヲ願ヒタイト云フノガ今一ツデアリマス、今一ツハ此組合ハ組合員ノ負債ニ付テハ債權者ト債務者ノ間ニ立ッテ協定ノ出來ルヤウニ盡力スルト云フトコトニナテ居ルノデアリマスガ、是ハマア最モ必要ナコトデアリマスルケレドモ、其組合ト云フモノガ實ハ債權者ノ集リデアリマスカラ、第三者ガ中ニ立ッテ、債權者ト債務者ノ中ニ立ッテ調停ヲスルト云フノナラ餘程有效ニ行ハレルダラウト考ヘマシマスガ、債務者ダケガ集テ、債權者ト債務者ノ中ニ立ッテ調停ヲスルトシマシテモ、債權者ノ方カラ見レバ是ハ債權者ノ集リデアル、丁度地主ト借地人トノ關係デ、借地人が集テ地主ニ交渉スルヤウナモノデアリマシテ、成程法律上ハ組合ハ法人デアリマシテ、人格ハ第三者デアリマスケレドモ、實質ハ丁度借地人ガ集テ地主ニ交渉スルト同ジヤウナモノデ、負債者ノ集リデアリマスカラ、ドウモ是ハ唯理窟ノ上デ第三者ガ、組合ガ中ニ立ッテ交渉スルンダト云フ理窟ノ上デ考ヘルヤウナ譯ニハ行カナイノデナイカト思フノデアリマス、デアリマスカラ是ニハドウシテモ市町村負債整理委員會デアリマスカ、是ハ名實共ニ第三者ノ地位ニナテ居リマスカラ、之ニ十分働キヲサ

セラレナケレバ、唯法律ノ明文ノ上ノ組合ガ其中ニ立ツト云フトダケデハ、實行ノ上デハ餘程困難デナイカト云フヤウニ考ヘマスノデ、此點ニ付テ此市町村整理委員會ト此組合トノ關係ヲ十分考慮サレマシテ、サウシテ此法律ヲ實行セラレル上ニ於テハ、ソコラガ圓滿ニ旨ク行クヤウニ御配慮ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、其三點ダケノ希望ヲ申述ベマシテ、私ノ贊成ノ意見ニ代ヘタイト思ヒマス

○男爵藤村義朗君 私モ本案ニ贊成シタイト思フ一人デアリマスガ、贊成スルニ當リテ唯一言チヨット希望ノ點ヲ申述ベタイト考ヘマス、委員ノ方ミノ質疑應答ニ依リマシテ、此法案ノ精神ハ所謂隣保扶助ノ精神ニ則ッテ、農村ノ經濟更生ヲ圖ル其一部デアルト云フト承ッテ居ルノデアリマス、正ニ其通りデアラウト思ヒマス、唯私ノ是マデ承ッテ居リマス印象トシマシテ、大臣初メ政府委員ノ方ミノ仰セラレル所ハ、如何ニモ今日ノ日本ノ農村民ハ昔ノ堯舜ノ世ノ中ノ者デアアルガ如キ極メテ理想的ナ頭ヲ有テオイデニナルヤウデアリマス、併ナガラ今日ノ實際ニ於テ是ハ皆様ノ御承知ノ通りニ隨分農村民ノ思想モ荒ンデ居リマシ、又御百姓デアアルカラト云フテ油斷ナラヌ人

モナカノ多イノデアリマス、而モ其農村ノ種々ナル方面ニ携テ居ラレル人ニハ色ミノ事情カラシテ、或ハ政黨關係ニ果サレ、或ハ自己ノ利害ニ依テ動ク人ガナカノ多イ、政府ノ經濟更生ト云フコト、農村經濟ノ自力更生ト云フコトニ付テハ政府ハ頻リニ、非常ニ御盡力ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、其更生案ヲ拜見シテ見テモ何ダカ慮大ナ一ツノ教科書ヲ與ヘラレタヤウナ感ガスルノデアリマス、誰デモ言フヤウナコトヲズト立ベ立テ居ル、アレヲ本省ノ御役人サン達ガ持廻テ講釋シテ、歩カレテモ、眞ニ經濟更生ガ出來ルカドウカト云フコトモ餘程私ハ危ゲニ感ズルノデアリマス、ノミナラズ其經濟更生ノ農村ニ於ケル本體デアル所ノ町村ノ如キ、農村自治體ノ如キ、或ハ産業組合ノ如キ、或ハ帝國農會ノ如キ今日ニ於テナカノ缺陷ノアル團體デアルヤウニ私ハ承テ居ル、隨分政黨關係トカ、或ハ利害關係等ニ依テ是等ノ自治團體ガ果サレテ居リハセヌカト思フノデアリマス、ソレ等ヲ中心トシテ果シテ政府ガ希望サレルガ如キ經濟更生ガ圖ラレルカ、從テ農村負債ノ整理ガ本當ニ出來ルヤ否ヤト云フコトニ付テハ私ハ大變ナ疑問ヲ有テ居ル、唯今日ノ場合トシテ政府ノ御述ベ

ニナッテ居ラレルガ如ク何トカシナケレバナラヌト云フコトハ事實デアル、從テ今回御提案ノ如キ案デ進ムヨリ外ハモウ仕方ガナイト思フノデアリマスルケレドモ、先程モ誰方カ御述ベニナリマシタ通り此案ノ運用ガ第一デアアル、又相當細イ點ニ互リマシテハ只今ノ岩田君ノ御述ベニナッタヤウナ心配ガ隨分アルヤウニ考ヘラレマスノデ、私ノ希望シマス所ハ經濟更生ト云フコトニ付テハ眞ニ今日ノ農村ノ實狀ヲ本當ノ所ヲ見ラレマシテ、餘リニ理想的ニ互ラズ、實際ニ即シテ又其地方、或ハ部落ノ特殊ノ事情ヲ顧ミラレマシテ、常識的ニ此整理ト云フコトヲシテ行カレルヤウニト云フ希望ヲ有ッテ居リマス、今日マデノ御話ヲ伺ッテ餘リニドウモ本省ノ農村事情ヲ見ラレマスル所ガ餘リニ理想的ニ互ッテ居リハセヌカト云フヤウナ感ジモアリマスノデ、實際ニ即シテ此運用ニ對シテ善處シテ戴キタイ、從テ府縣ソレノ方面ニ向ッテモ能ク政府ノ意ノアル所ヲ御指示相成ッテ實行的ニ、且ツ實際的ニ指導シテ行カレタイト云フダケノ希望ヲ述ベテ本案ニ賛成スル者デアリマス

カラ皆様ノ御説ガアリマシテ、御氣遣ヒノ點ハ御尤ト存ジテ居リマス、私モ其考ヘデアリマス、私ガ申上ゲル迄モアリマセヌ、唯此金額ヲ見マスト五十億カラノ金デ利子ガ二分違フテモ年ニ一億圓位違フ、大キナ違ヒデアリマス、政府モ御心配デアリマセウガ、此案ガ通過シマシタナラバ、一日モ早ク手ヲ著ケラレマシテ、今皆様ノ御氣遣ノ所ハ多々アリマセウガ、人間ヲ良イ方ニ導イテヤルコトヲ希望スル次第デアリマス、サウシテ一日モ早ク……利子ノ違ヒモ大シク違ヒデアリマス、政府ニ於テモ御心配ヲ願ヒタイ、之ニハ賛成スル者デアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 他ニ御發言モナイヤウデアリマスカラ採決ヲ致シマス、本案ニ賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

(總員舉手)

○委員長(子爵野村益三君) 全會一致ト認メマス、本案ハ可決サレマシタ

○國務大臣(後藤文夫君) 御挨拶ヲ申上ゲマス、先日來質疑應答ノ際ニ於キマシテ、又本日御討論ニ當リマシテ、皆様ノ御述ベ下サイマシタコトニ付テハ、政府ニ於キマシテモ尠カラズ切ナル御注意ヲ戴キ、又深キ考慮ヲシナケレバナラヌ點ヲ示シテ戴キマシタ、衷心ヨリ有難ク感謝イタシマス、

此法案ハ御承知ノ通り初テノ新シイ試ミデアリマシテ、當局ニ於キマシテモ昨年來隨分練テハ參リマシタコトデアリマスガ、色皆様ヨリ御注意ヲ御希望ノアリマシタヤウナ點ヲモ餘程考慮シマシテ、練クコトデアリマスルケレドモ、矢張り當局トシテモ氣ノ付カナカッタコト、十分ノ注意ヲ拂ハナカッタヤウナ點ガ澤山アルコトト自分共思ッテ居リマス、ソレニ付キマシテソレノ非常ニ適切ナ御注意ヲ戴イタト感ズル點ガ少クナイノデアリマス、私ハ只今申シタヤウニ、深ク感謝ヲ致シ、又御注意ノ點、御希望ノ點等ニ付テ、十分ナ考慮ヲ拂ッテ此案ノ運用ニ當リタイト考ヘマスル次第デアリマス

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ散會イタシマス

午前十一時四十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長	子爵野村 益三君
副委員長	男爵藤村 義朗君
委員	侯爵松平 康昌君
	伯爵黒木 三次君
	子爵片桐 貞央君
	子爵舟橋 清賢君

水上長次郎君

男爵平野 長祥君

男爵足立 豐君

山岡萬之助君

菅原 通敬君

林 平四郎君

上松 泰造君

岩田 宙造君

國務大臣

農林大臣 後藤 文夫君

政府委員

農林省經濟更生部長 小平 權一君

農林書記官 井野 碩哉君

昭和八年三月二十五日印刷

昭和八年三月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局